別紙2

事業所名 グループホームことほぎ庵

作成日： 平成30年5月24日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		安全確保のため、書面で家族の同意を得て車いすベルトやベッド柵等の使用を行うこと。	身体拘束に頼らないケアについて検討を重ねる。委員会の設置（身体拘束廃止検討委員会）委員会開催を3ヶ月に1回する。	家族の同意に基づき、身体拘束にあたるケアについて検討会議やカンファレンスを行い、計画に基づき実施する又記録により状況を明確化する。 身体拘束を行うにあたり「緊急やむを得ない場合」の3要件である①切迫性②非代替性③一時性を本人やその家族に対してできる限り詳細に説明し、十分な理解を得るよう努め、早期解除の方向へと導く。	3ヶ月
2		運営推進会議の開催にあたり市町村職員や包括支援センターの職員の参加がない。 （土、日曜日の開催が多い）	運営推進会議を平日に開催し、包括支援センター職員の参加しやすい日時の工夫を行う。	家族やボランティアの協力を得て行う施設イベントに合わせ運営推進会議を実施してきた。地域や施設状況を理解頂きより活動しやすい状況を確保。そのため休日実施することが多く包括支援センターの職員や市の職員の参加が困難であった。平日に定期的日程を調整し参加を頂く。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。